

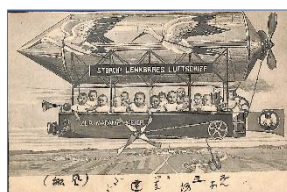
「日本児童文学のはじまりをたどる 巖谷小波の絵はがきネットワーク」

いわ や さ ざ な み

巖谷小波と絵はがき

くにお
講師：巖谷 國士 先生

児童文学の祖と言われる巖谷小波のご令孫で、小波の絵はがきコレクションを所蔵されている巖谷國士先生に、絵はがきから読みとれる小波の「家族」や「旅」、絵はがきの歴史などについてご講演いただきます。



2026年12月13日(日) 13時30分～16時

大阪府立中央図書館 多目的室 東大阪市荒本北1-2-1
(近鉄けいはんな線荒本駅 北西 400m)

関連企画展示

「日本児童文学のはじまりをたどる 巖谷小波の絵はがきネットワーク」

会期：11月13日(金)～
12月27日(日)

大阪府立中央図書館
国際児童文学館で開催

<プログラム>

報告「日本児童文学のはじまりをたどる 巖谷小波の絵はがきネットワーク」

土居 安子 (IICLO 理事・総括専門員)

講演「巖谷小波と絵はがき」

巖谷 國士 先生 (明治学院大学名誉教授)

対象 子どもの本に関心のある方々 参加費 1,000円 定員 50人

申込方法 当財団ホームページ「参加申込」から または、電話、ファックスで

主催・問い合わせ 大阪国際児童文学振興財団 (IICLO) 後援 大阪府立中央図書館



講師プロフィール：巖谷 國士 (いわや くにお)

フランス文学者・批評家・作家・写真家・明治学院大学名誉教授。1943年、東京都港区に生まれる。日本の児童文学を開拓した巖谷小波の孫にあたり、東京高輪の小波の家で育つ。1960年代からシュルレアリスムの研究と実践で知られ、その第一人者とされる。

文芸・美術・映画・漫画の批評、紀行・庭園論・女性論、写真個展やメルヘン創作、講演・展覧会監修など、活動は多岐にわたっている。著書：『シュルレアリスムとは何か 超現実的講義』(2002)『封印された星：瀧口修造と日本のアーティストたち』(2004)『森と芸術』(2011)『幻想植物園 花と木の話』(2014)『旅と芸術 発見・驚異・夢想』(2015)『澁澤龍彦論コレクション (1～5)』(2017)『絵本とメルヘン：明治学院大学図書館貴重書コレクション』(2018)『マン・レイと女性たち』(2021)『唐十郎とは誰か 日本の戦後とシュルレアリスム』(2026)ほか多数。訳書：ブルトン『シュルレアリスム宣言・溶ける魚』『ナジャ』、エルンスト『百頭女』、ペロー『完訳ペロー昔話集 眠れる森の美女』ほか多数。



一般財団法人

大阪国際児童文学振興財団

International Institute for Children's Literature, Osaka

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL 06-6744-0581 FAX 06-6744-0582

http://www.iiclo.or.jp/ E-mail:office@iiclo.or.jp

本活動は、「子どもゆめ基金」の助成活動です。国立青少年教育振興機構は、子どもたちの成長に必要な体験活動や読書活動を推進するため、「体験の風をおこそう」運動や「早寝早起き朝ごはん」国民運動にも取り組んでいます。

本活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。

National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構

子どもゆめ基金



「体験の風をおこそう」運動

かわいい子には体験を！

—子どもの頃の体験は人生の基盤—

運動の詳細や各種資料等はこちらから→



全国の体験活動・プログラム
イベントをさがそう

体験活動情報サイト

